

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
子ども家庭福祉	1	前期	講義	2	松崎 優
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 子どもの人権擁護について理解する 3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 5. 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。 					
<p>○授業の概要</p> <p>子どもの発達保障と権利擁護を中心課題としながら、歴史の変遷を踏まえ現代社会における子ども家庭福祉の課題について理解する。また、子ども家庭福祉の実際について諸制度及び実施体制・支援内容を取り上げ、子どもと家庭に対する社会的支援について理解を深める。これら子ども家庭福祉の基礎的知識をもとに幼児教育、保育にかかわる専門職としての役割、意義、今後の課題について理解する</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション（子どもと家庭）</p> <p>第2回：子ども家庭福祉について（現代社会における子どもと家庭を取り巻く課題）</p> <p>第3回：子ども家庭福祉の実践哲学</p> <p>第4回：現代社会と子ども家庭福祉の意義</p> <p>第5回：子ども家庭福祉の歴史の変遷</p> <p>第6回：子どもの人権と権利擁護（児童の権利に関する条約など）</p> <p>第7回：家庭全体を支える法制度（母子保健と子どもの健全育成）</p> <p>第8回：保護者を中心とした家庭支援</p> <p>第9回：子どもを支えるための法制度（社会的養護）</p> <p>第10回：子ども虐待、DVとその防止</p> <p>第11回：障害のある子どもへの対応</p> <p>第12回：少年非行等への対応</p> <p>第13回：貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応</p> <p>第14回：多様なニーズへの対応（子ども家庭福祉の専門職）</p> <p>第15回：次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進</p> <p>定期テスト</p>					
<p>○テキスト</p> <p>なし</p>					
<p>○参考書・参考資料等</p> <p>随時、プリントを配布する</p> <p>「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館</p>					

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○学生に対する評価

試験：80%、提出書類等：20%